

金魚の飼い方



～すぐえたのに救えなかったあの命
僕は二度と見捨てない～

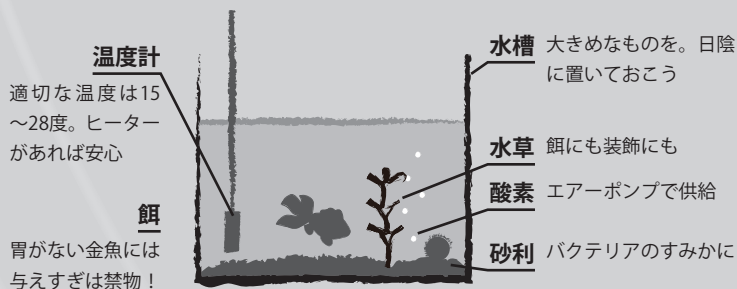
今年も蒸し暑い夏がやって来ましたね。今年は金魚に癒されて夏を涼しく過ごしませんか。金魚をすくってみてもそのあとの飼育方法がわからない？大丈夫、この記事を読めば金魚の簡単な飼育方法がまるわかりです！（ルリア）

すくったその日にすること

すくったその日のうちに金魚がすめる最低限の環境を用意しましょう。最も大事なのが適切な水の用意です。中性の水を好む金魚には、塩素が含まれている水道水は有毒ですので、カルキ抜きをホームセンターなどから調達してくるとよいでしょう。

次に重要なのが酸素。専用の機械が用意できなければ、酸素を出す錠剤を使うとよいでしょう。ホームセンターなどが利用できない場合は、緊急用に水道水以外の水を勢いよく（水に空気が入るように）バケツなどに注いで対策を。餌はすぐに与える必要はありません。

金魚を飼うのに必要なもの



日々のお世話のしかた

餌は5～10分以内に食べ尽くす量を1日に1回与えてください。だんだん水槽内で有毒なアンモニア濃度が増加していきますので、月に1回程度、全体の約3分の1の水を替えましょう。金魚のフンなどは下にたまりやすいので、下の方から水を出すとよいでしょう。すべての水を替えてしまうと金魚が環境の変化についていけなかったり、必要なバクテリアを失ってしまったりするので注意。

～金魚のQ&A～

Q：飼い始めるのにはどれくらいお金がかかるの？

A：水槽とエアーポンプが合わせて3,000円くらい、餌、水草、砂利なども買うとさらに1,000円ほど。金魚は1匹100円から（お店にもよります）。

Q：バクテリアはどうやって用意するの？

A：バクテリアがすみやすい環境を作れば自然と発生しますが、自信がなければホームセンターで買ったり、自然の川の水を使うとよいでしょう。

Q：しばらく家を空けるときは？

A：金魚は10日ほど餌をあげなくても生きていけます。心配な方は少しずつ溶けて餌を放出する留守番用のフードを用意するとよいでしょう。友人に任せるのもいいかもしれませんが。

Q：金魚の尾びれに白い点がいっぱい！

A：おそらくそれは白点病という金魚が一番かかりやすい病気です。他の金魚に感染しないように、すぐに隔離しましょう。詳しい治療方法はWebで調べたり、専門の方に尋ねるなどして調べるとよいでしょう。



金魚は正しい飼い方をすれば30年も生きることもあります。飼う自信がなければお互いのためにも、すくったあと元に戻してあげた方がよいでしょう（お店によってはできない場合があります）。



はみだし
すてーじ

300号おめでとうございます。
⇒今まで長くて厳しい戦いだった……。

(工・3 ざりら)
(何はともあれ300号ありがとうございます！；編)